

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 第43号

[2012年6月号]

メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第43号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を毎月中～下旬ごろ、会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<目次> [ページ]

JAM の facebook もよろしくお願ひします	[2]
平成24年度総会および活動報告会のご報告	[2]
メソトマンスリー	[3]
編集後記	[7]
次号の予定	[8]



JAMのfacebookもよろしくお願ひします



Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索してください。

このロゴが目印です。

まだ、使いこなせていないのですが・・・少しずつ、いろいろ書き込んでいます。

ぜひ、「いいね！」を押してみてください。
よろしくお願ひします。

平成24年度総会および活動報告会の報告

去る5月20日(日)、平成24年度総会および活動報告会を開催しました。
総会に7名、活動報告会に22名のご参加をいただきました。
会場までお越しくださいました皆様へスタッフ一同、心より感謝申し上げます。

活動報告会では、現地スタッフの前川より映像・画像とともにメータオ・クリニックの院内感染予防対策の活動と今後の課題について報告しました。また、ここ最近のビルマ/ミャンマー国内の民主化の動きを受け、クリニックを取り巻く現状について、院長であるシンシア医師へインタビューを行った映像を放映し、最新の状況をお伝えしました。

写真は、総会、活動報告会の様子です。
詳しい内容は当会HP (www.japanmaetao.org) にまとめ次第、掲載いたします。

ぜひ、ご覧ください。





開会のあいさつを行う小林代表



活動報告を行う前川看護師



次期派遣者あいさつ 田畑看護師
※ 前川看護師はあと1年現地に赴任します



会場の様子

メソトマンスリー

世界環境の日 (World Environment Day)



【メソト=前川 由佳】

6月5日は世界環境の日。

そう教えてくれたのは、環境保全チームのリーダーでした。予算がなく、最近なかなか活動できていない環境保全チーム。年に一度の特別な日に、環境について伝えたいという提案に、「リサイクル」をテーマに環境イベントを開催することになりました。

環境は子どもたちの未来にとっても大切なものだから、とクリニック内にある託児所 (Child Recreation Center) の子どもたちにも参加してもらい、環境についての絵を描いてもらいました。色とりどりのクレヨンで描かれた鮮やかな絵は、当日会場を飾りました。

移民学校の学生、患者さん、スタッフなど総勢 150 名が参加し、環境についての映画から



環境がなぜ大切なのか、学びます。そして、環境を守るために私たちにもできること。それは「リサイクル」。ごみ分けゲームから、ごみを分別してリサイクルすることから始められることがあるのだと伝えます。

リサイクルと環境問題。

ビルマ国内への急速な企業の進出、経済開発によって環境破壊が懸念されている今、リサイクルという身近なことから環境の大切さ、だれしもが愛するビルマの自然について考える機会となってくれたらと思っています。



(左)プラスチックやペットボトルを使っての看板作製。RECYCLE

(右)真剣な様子で絵を描くクリニックの子どもたち。環境ってなんだろう。

アウンサウンスーチーさんメソト訪問

【メソト=梶 藍子】

米国の大学院で公衆衛生を勉強しています JAM スタッフの梶 藍子です。
現在、修士論文の調査のためにメータオ・クリニックで実習をしています。

私がメソトに到着した数日後、あのビルマの民主化運動の指導者、アウンサウンスーチーさんがメソトを訪問されました。

スーチーさんはバンコクで開かれた世界経済フォーラム東アジア会議に出席された後、多忙な中、スケジュール調整をされ、メソトに来られました。そのスーチーさん訪問日のメソトの様子を報告したいと思います。



(写真；メソト空港前でスーチーさんを出迎えるために集まったビルマ人の難民移民の人々)

スーチーさんの写真や国民民主連盟（NLD）の旗を持ったたくさんの人々が沿道でスーチーさんを待っていました。



タイ警察率いるスーチーさんの車がでてきました。

たくさんの人が出迎える沿道を通りぬけ、スーチーさんを乗せた車一行は第一の訪問、メラ難民キャンプ方面へ走り過ぎ去って行きました。

午後、スーチーさんはメータオ・クリニック院長との会談を予定されていたため、スーチーさんをクリニックで一目でも見ようとするビルマの人々が空港からクリニックへ移動してきました。



クリニックではスーチーさんを歓迎すべく、スーチーさんの写真が入った垂れ幕まで用意されていました。



スーチーさん到着まで数百人もの人々がクリニックで彼女を待っていました。スーチーさんのために歌を唄い、会場の興奮が頂点に達していました。



午後1時半、院内全体のスピーカーから「スーチーさんのご訪問はキャンセルされました。皆さん帰宅してください。」とアナウンスが流れました。

会場には「えー！」と落胆した人々の声が響き渡りました。

スーチーさんは午後メータオ・クリニックの前を通り空港へと向かわれバンコクへ戻られました。

バンコクポストではスーチーさんはクリニックの前を通過する際、車のスピードを緩め沿道の人々に窓から挨拶したのではと伝えています。

残念ながら、もう一人のアウンサウンスーチーと呼ばれるクリニックの院長シンシア医師とスーチーさんの会談は実現されることがありませんでした。

クリニック内の安全性やスケジュール調整が問題でタイ政府がメータオ・クリニック訪問を許可しなかったのではないかとされています。

しかしながら、タイトなスケジュールの中、タイ・ビルマ国境で暮らすビルマの人々を決して忘れることなく、メソトをご訪問されたスーチーさんの思いは人々へ伝わったのではないかと思います。またスーチーさん、ビルマの民主化を願うメソトの人々の熱い気持ちもスーチーさんは目と肌で感じ取られたに違いありません。

最後にメラ難民キャンプの病院を訪問されたスーチーさんの様子です。難民キャンプで病院を運営するAMIのスタッフがスーチーさんを案内したそうです。



きょうのゆめ

今日の主役はソウタンレーちゃん、8歳。

カレン州のパアーンから来ました。メータオ・クリニックに来たのは今回で2回目。

3歳の頃に、歩けなかったソウタンレーちゃんはお母さんと一緒にメータオ・クリニック



に来ました。いろんな検査をしてもらって、心臓に穴が開いていることがわかったので、チェンマイ大学で手術をしてもらいました。その時に、また5年後に来てねと言われてたので、今回来たそうです。これからチェンマイ大学まで行って、検査を受けてきます。病院に行って手術したら元気になって歩けるようになったから、今回も大丈夫だよ〜とたくましい男の子っぷりを感じさせてくれました。

将来の夢は…メディックス。注射をしたいんだそう。これくらいの年の子って、みんな注射が嫌いかと思っていたけど…並々ならない強さを持っているようです。

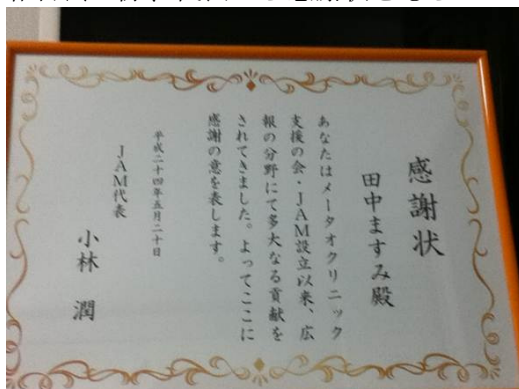


(右)ソウタンレーちゃん
検査だって、注射だって、手術だって怖くないもん!!!

編集後記

今年も総会を無事に終わることができました。
これも、ひとえに会員の皆様のおかげだと大変感謝しております。

報告会の際、代表から感謝状をもらいました。



事前には、まったく知らされていなかったことと、朝から準備でちょっと眠たくなっていた瞬間に名前を呼ばれたことが重なって
少々、不審な動きをしてしまいましたが、
後日、代表から事務長たちと、こっそり準備を進めてくれていたことを聞き、とてもうれしかっ



